

## 謹賀新年 2008年 子年

新年、明けましておめでとうございます！私は「おとぎの国」にいる、テンジクネズミのボタンです。今年は「ネズミ年」、動物園を代表して、みなさんに新年のご挨拶を申し上げます。

私たちテンジクネズミは、モルモットってよばれることがあります。体つきは、スレンダーでしっぽの長いネズミさんと違って、ずんどうでしっぽもありませんが、ネズミさんと同じ齧歯目です。原産はチリやポリビアなどのアンデス高地で、約3000年前に食用に家畜化され、今では野生種はいなくなりました。

日本には、江戸時代にヨーロッパからオランダ船によって持ち込まれました。インド(天竺)を経由して日本にきたことから、テンジクネズミと名前がつけられたそうです。アメリカではクイビィ、ヨーロッパではギニアピッグとよばれ、ペットとして飼育されています。

私たちの大好物は牧草や野菜などで、動物園では牧草・固形飼料・干し草をもらっています。たまに飼育員のおじさんがくれるリンゴは最高！ですが、食べ過ぎは太る原因だからあまりたくさんはもらえません。また、歯は一生伸び続けます。エサを食べる時には、上下の歯をこすり合わせ、いつもちょうど良い長さを保っています。

私たちの仲間、様々な色合いや長毛・短毛・巻き毛などがあってとても個性的です。友だちの「きなこちゃん」は全身きなこ色で、つぶらな顔なのでよく『カワイイ』って言われます。長毛の『エレガントちゃん』の毛は、やわらかくて『まるで、貴婦人のようにほんとうに素敵』ってみんなに誉められます。

「おとぎの国」では、私たちとふれ合うことができます。飼育員さんやボランティアさんがいろいろ親切に教えてくれるので、ぜひ会いに来てね～待ってるよ！

今年も、京都市動物園をよろしくお願いたします。



『ボタン』



『きなこ』



『エレガント』

### できごと



#### 安らかに

★10月2日、タンチョウの安寿(♀)が肝不全のため死亡しました。38歳でした。1976年に、中国の西安市から来園し、網野(♂)との間に、たくさん子どもをもうけてくれました。

### 壁画



★類人猿舎の観客通路に、画家の木村英輝さん(京都市在住)にゴリラの壁画を描いていただきました。壁一面に躍動感あふれるゴリラたちの日常が描かれています。制作にあたり「楽しい動物園を創る会」の皆様にご協力いただきました。



### 誕生！

★9月23日マンドリルに、オスの赤ちゃんが生まれました。『マンマル(まん丸)』と名付けられました。お母さんのオネちゃんにとっては3頭目の出産なので、私たちも安心して任せています。



『当日撮影』

### 新しい仲間

★アムールトラの『ピクトル』が多摩動物公園からやって来ました！1997年5月18日にドイツ



『ピクトル』

で生まれた、なかなかの男前です。メスのアオイと仲良くしてほしいものです。

★福井県自然保護センターから、昨年6月に勝山市で保護され大切に育てられた、幼いニホンカモシカのメスが来園しました。

★ホオアカトキ5羽と共に、ブラジルバクの『ミノリ』がよこはま動物園からやって来ました！2004年10月23日生まれのメスで



『ミノリ』

す。オスのカルロス共々よろしくお願いたします。



『ジュン』

### 寄付のお知らせ

ありがとうございました

(財)日本漢字能力検定協会から園内マップ、NPO法人 京都自然動物協会からパソコン一式を寄贈していただきました。



# アミメキリン夫婦に 待望のアカチャン誕生！

## 京都市動物園のキリンたち



父  
清水  
(キヨミズ)

1999年8月28日 埼玉県東武動物公園生まれ  
2001年3月27日に来園しました。  
現在8歳で体重は720kg、背の高さは約4.2m  
あります。非常に穏やかな性格でヒトに対  
してもフレンドリー。誰とでもすぐに仲良  
くなれます。ちょっと臆身で、寒さに弱い  
のが担当者の悩みの種・・・



母  
未来  
(ミライ)

2001年3月24日 沖縄こどもの国生まれ  
2005年10月24日に来園しました。  
現在6歳で体重は695kg、背の高さは約4mで  
す。マイペースであつとりとした性格で、  
多少のことでは動じません。よく食べ、よ  
く反芻はんそうをする健康優良児。沖縄生まれなの  
に寒さに強く、京都の暑さは苦手です。



息子  
竜王  
(リュウオウ)

2007年7月28日 キヨミズとミライの第一  
子として生まれました。  
体重は生後1ヶ月で85kg、3ヶ月で185kgに  
増えました。背の高さは約2m。ガッチリ  
とした体格は母親譲り。グラウンドを所  
狭しと駆け回り、とても元気でやんちゃ  
です。

## キヨミズ・ミライ夫婦のあゆみ

- |             |  |
|-------------|--|
| 2005年10月24日 | キヨミズに待ちに待ったお嫁さん、ミライが来園   |
| 2006年 3月25日 | ミライ、5歳の誕生日のあくる日に初めて発情 <small>※1</small> が来る  |
| 2006年 4月22日 | 3回目の発情でめでたく妊娠  |
| 2007年 7月28日 | 約15ヵ月間の妊娠期間を経て無事オトコノコを出産   |
| 2007年 8月28日 | ミライが落ち着いて子育てできるように、出産後1ヵ月間キヨミズとは柵をへだてて生活していたが、この日から3頭そろってグラウンドで過ごすことになる。           |
| 2007年 9月 6日 | <small>※2</small> 5つの候補名から来園者による投票で、息子の名前が「竜王」に決定。<br>京都岡崎白川ライオンズクラブ様によって命名式が行われた。 |

※1 キリンのメスは4歳前後で発情がきて妊娠可能な体に整います。オスはメスの発情にあわせて交尾をします。普通14日前後に1回の発情があり、1回の発情は約24時間です。

※2 京都市動物園で生まれたキリンには“高く大きく”という願いを込めて京都にある山の名前をつけています。投票では5つの山の名前から選んでいただきました。竜王岳は鞍馬山の近くにある山です。



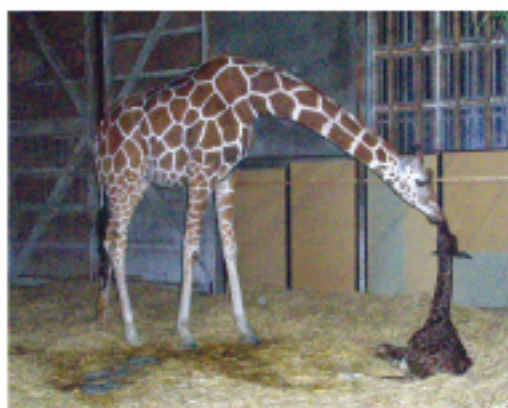


# リュウオウ誕生!!

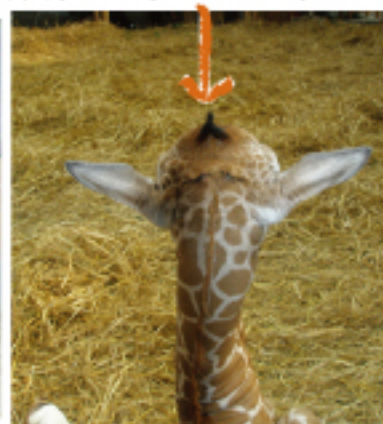
お母さんのお腹の中で邪魔にならないよう  
角は内側に折りたたまれていました。  
一週間くらいで立ち上がりました。



2007年7月28日午後8時50分。  
産み落とされたばかりのリュウオウです。  
まだ羊膜がついています。



初めてのスキンシップ。  
とってもステキなシーンです。



命名式の様子です。  
くす玉で名前が発表されました。  
名前のように立派に育ってほしいです。



あっぱいの時間は頻繁ではありません。  
ちょうど授乳時間に遭遇した方は  
運がいいですよ!



生後二ヶ月くらいから  
お母さんのおしりに  
くっつくようになりました。



お父さんのキヨミズはリュウオウに優しく接します。  
この日は2頭同じ格好で座っていました。

## 担当者より

母親のミライは初めての出産でした。私たちもキリンの出産に立ち会うのは初めてでした。妊娠の時点でみなさんにお知らせしたのも、出産の初日から公開したのも初めてのことでした。初めてだらけの中で至らない点もあり、反省しています。しかし、多くの万々が安産を願いながら、見守っていただけただけで大変感謝しております。そして、これからも当園のキリンファミリーをさらにかわいがっていただけましたら嬉しいです。みなさんから愛されるキリンたちであり続けられるよう引き続き頑張っていきます。キリンたちに、そして私たちにも気軽に声をかけてくださいね。

(飼育担当：高木直子・中野和彦)





## ZOOスポット 61

今回は、この3月で動物園を退職する平田洋義副園長にスポットをあててみました。

少年時代、愛犬が病気で苦しみながら死んでいくのを目の当たりにしたとき、家族同様の大切な犬を助けることができない悔しさを痛切に感じました。それが獣医師を目指すきっかけでした。

大学時代に上野動物園で獣医実習を経験し、いつか動物園獣医師として働きたいなと思っていました。その後、憧れの動物園に異動できたのは、昭和60年の春、京都市に勤務して14年が経っていました。

この当時は国際交流事業として動物交換（中国西安市、朝鮮民主主義人民共和国、メキシコ・グアダハラハラ市）が盛んで、技術係長として動物の受入・送出しに伴う準備作業や動物舎の整備に奔走しました。昭和62年、朝鮮民主主義人民共和国の平壤中央動物園との動物交換ではラマ・アカカンガルー・アメリカオシ・ハゴロモツル・マールを送り届けるため、動物護送団として新潟港を出港しました。日本で初めて動物園関係者が平壤市を親善訪問するというまたとない経験ができました。

動物交換では悲しい出来事もありました。平壤市から帰国後もなく、友好都市中国西安市から贈呈されたレッサーパンダの親子5頭が相次いでジステンパーにより亡くなった事です。この時

は動物園全体が暗い雰囲気になりました。

動物舎の整備では、鹿類舎・カモシカ苑・ゴリラの京太郎舎の新設・サル島改修の打合せで、それぞれの動物にとってよりよい快適な環境を作るために担当者とは恵を出し合いました。楽しいひと時でもありました。

こうしてあっという間の4年が過ぎ、元の公衆衛生の仕事に戻ることになりました。もう動物園で仕事をする機会はないと思っていましたが、14年ぶりに飼育課長として昔の仲間と一緒に仕事をする事になり、とても嬉しく思いました。この間に動物に関する法律が整備され、種の保存に対する取組みも一段と積極的になり、一からの勉強でした。

現在、市民の健全な娯楽と社会教育の場としての動物園のあり方や将来像を多様な観点から検討するための「動物園活性化プロジェクトチーム」を立ち上げ、その一員として、動物園の役割や使命、今後の方向性、施設整備はどうあるべきか、活性化のための方策などについて議論しているところです。

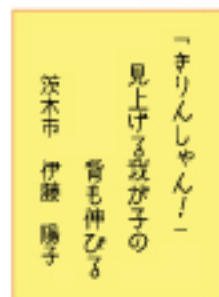
市民に親しまれ、また来たいと思える魅力ある動物園作りに、限られた時間精一杯努力していきたいと思っています。



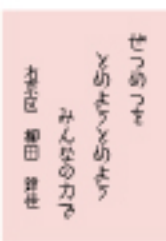
## 第28回動物愛護に関する標語コンクール 見事「銀賞」受賞!

平成19年度京都市動物園動物愛護に関する標語コンクールで優秀賞として以下の5作品を選定し、表彰状を贈呈しました。さらに（社）日本動物園水族館協会が開催した「第28回動物愛護に関する標語コンクール」全国中央審査に応募した伊藤陽子さんの作品が銀賞に選ばれました。

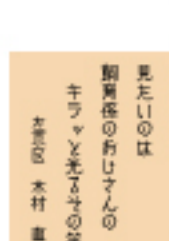
### 『銀賞受賞作品』



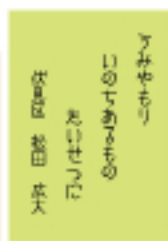
「きりんちゃん!」  
見上げる我が子の  
背も伸びる  
伊藤 陽子  
茨木市



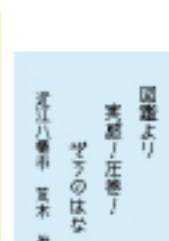
せい  
の  
つ  
み  
みん  
な  
の  
か  
ら  
お  
ま  
ん  
な  
ら  
せ  
い



またいのは  
飼育係のおじさんの  
キラッと光るその笑顔  
木村 直子  
木津区



みやより  
いのちあまの  
えいせい  
お田 浩大  
伏見区



園遊より  
実感! 庄巻!  
ザラのはな  
宮木 智雄  
京都市八幡市

## 功勞動物表彰

(財)日本動物愛護協会から、功勞動物表彰を受けました。



『キバノロ・テンメン』



1994年6月11日  
生まれ  
年齢：13歳  
性別：オス  
当園で生まれ、国内  
では最後の1頭となり  
ました。ただ今記録  
更新中です!



『ホッキョクグマ・ボール』



1974年12月9日  
生まれ  
年齢：32歳  
性別：オス  
国内のオスでは最高  
齢となりました。  
まだまだ、長生きし  
てほしいです。

■第144号の発行は平成20年4月29日(火)の予定です。  
■定期購読を希望される方は、80円切手4枚(1年分)を同封して京都市動物園までお申し込み下さい。

動物園だより No.143  
発行所 京都市動物園  
京都市左京区岡崎法勝寺町岡崎公園内 TEL075(771)0210